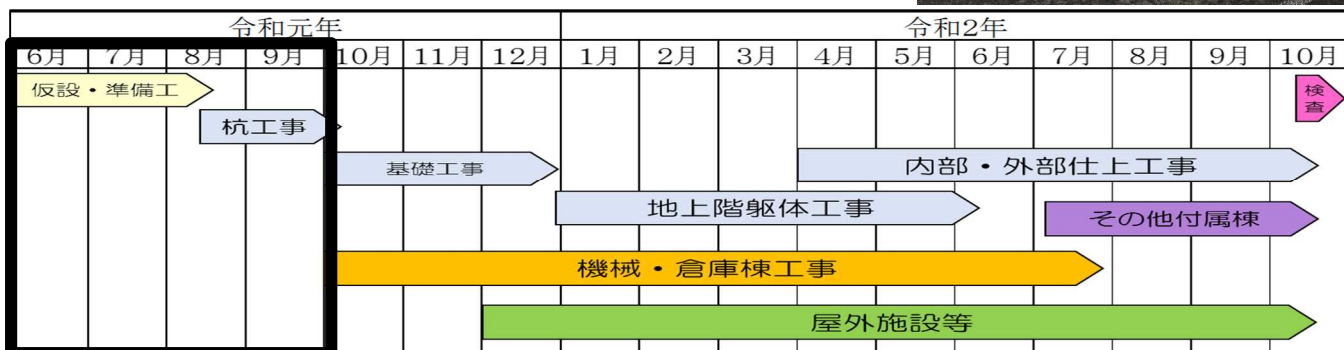




庁舎建築工事：現地での工事を開始しました

庁舎建築工事では、最初の工程となる仮設工事を実施中です。具体的には、新庁舎建設地の周囲を危険性防止等のためメッシュシート等で囲む(右写真)、工事の拠点となる現場事務所を設置する等の作業を行っています。

8月下旬から10月上旬頃にかけては、次の工程となる基礎杭設置工事等を行っていきます。



建築工事手順の詳細については、次面以降もご覧ください。

敷地造成第2期工事：地下調整池の本体設置が完了

2期工事では、防災のため、豪雨時の雨水等を一時貯留する地下式調整池の設置を行っています。既に打設した基礎・底面コンクリートの上に、地下式調整池本体(地下式調整池の柱や屋根に相当)となる \cap 型構造物(ボックスカルバート)を設置する作業が完了し、調整池の全体像が現れてきました。

現在は、 \cap 型構造物両端の壁や床面部分のコンクリート打設を行っており、その後には \cap 型構造物の間に屋根となるふたをかける作業を行っていきます。引き続き、9月末の工期内での早期完成に向けて工事を進めていきます。



\cap 型構造物の設置



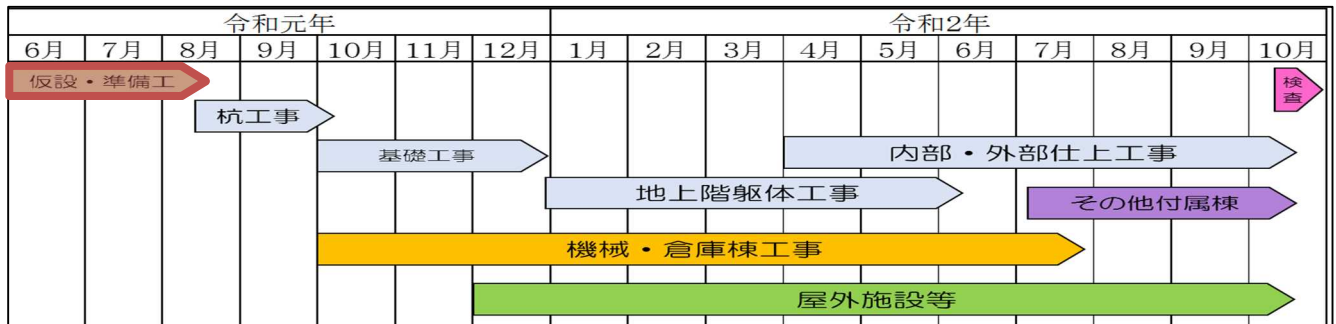
\cap 型構造物の側面

庁舎建築工事の手順・内容等は下記の通りです。約一年半をかけ、新庁舎建築を進めてまいります。

手順① 仮設・準備工事

◇危険防止等のため、メッシュシート等で建設地の外周を囲みます。

おおよその時期：令和元年6月～8月



手順② 杭工事

◇建築物を支えるための地中杭を設置します。騒音を抑制できるドリル方式で実施します。

おおよその時期：令和元年8月～10月



手順③ 基礎工事

◇建物の基礎や地中梁(鉄筋コンクリート)等を設置します。

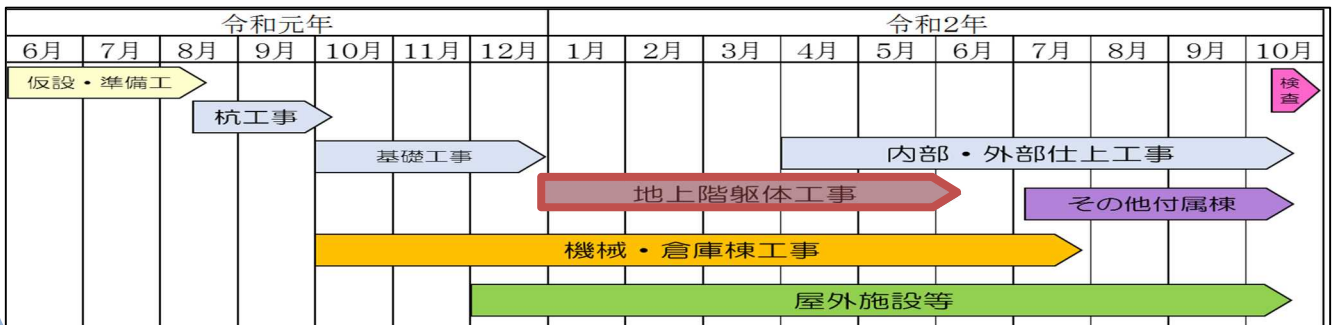
およその時期：令和元年 10月～12月



手順④ 地上階躯体工事

◇建物の地上部分(1階～3階等)の柱・梁(鉄筋コンクリート)等を設置します。建物の外形が見えてきます。

およその時期：令和2年 1月～6月



手順⑤ 外装・内装仕上げ工事

◇庁舎建物の天井・床・壁面の仕上げや、設備の設置を行います。

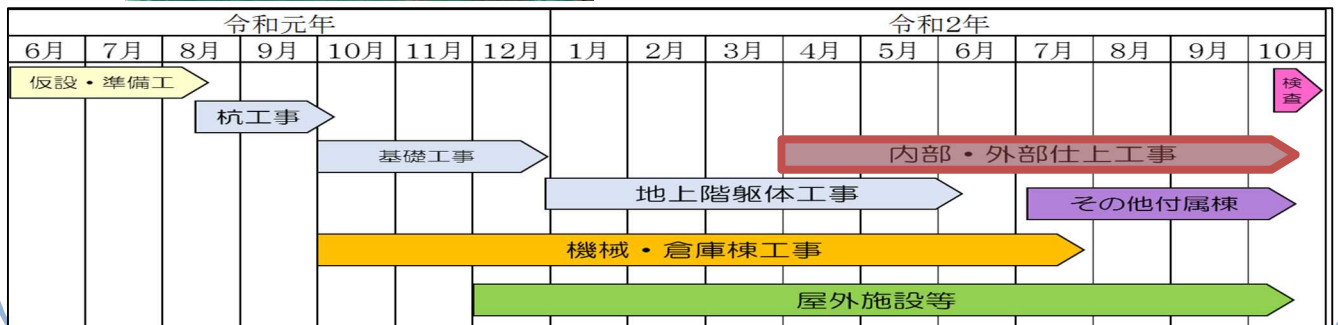
おおよその時期：令和2年4月～10月



外装



内装



手順⑥ 建物完成・引越

◇建物完成後も、外構工事(舗装)等を行います。

おおよその時期：令和2年10月～12月

手順⑦ 開庁

◇新庁舎での業務を開始します。

おおよその時期：令和3年1月

※新庁舎内部・外観完成想像図



(正面玄関から窓口カウンター)



(議場/正庁)



(庁舎正面)